

女性の方で農業にイノベーションを！

次代の農業を担う若手女性農業者と地域農業に参画できる女性リーダーの育成

女性農業者のさらなる活躍のため

千葉県の令和元年の農業産出額は全国4位であり、全国有数の農業県です。農業従事者は過去35年間で65%減と大きく減少している中(図1)、農業の持続的な発展のためには、担い手の約4割を占める女性の一層の活躍が不可欠で、主体的な経営参画や地域の方針策定の場への参画が必要となっています。

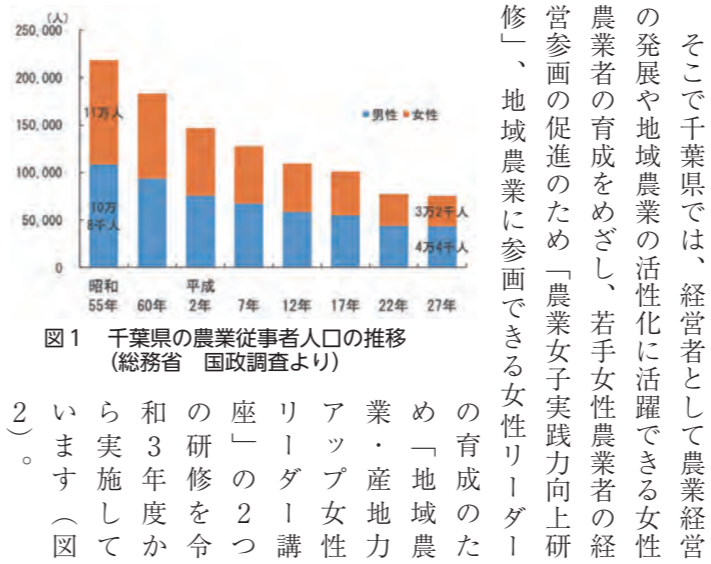


図1 千葉県の農業従事者人口の推移 (総務省 国政調査より)

に必要な基礎知識を学べるよう工夫され、育兒期でも参加しやすいよう保育支援などの環境も整えています。年齢的にも地理的にも近い人々での情報収集や交流をとおして、女性農業経営者としてのキャリアアップを支援していきます。



圃場で栽培管理のポイントを学ぶ



農業機械の使い方を学ぶ

地域農業に参画できる女性リーダーの育成

農業委員や農業協同組合の役員等、地域農業の方針策定の場への女性の登用は年々進みつつありますが、女性の割合はまだ低い

のが現状です(令和2年度末で県内農業委員の女性割合14.6%、県内JA役員の女性割合8.5%)。本県農業のさらなる発展のためには、産地における生産や販売などの取組に、女性の声をより反映させることが重要です。

◆地域農業・産地力アップ女性リーダー講座◆

そこで、産地や組織と連携し、産地の活性化をめざして行動できる女性農業者を育成することを目的として、3年間にわたって県域で本講座を開催します。

今年度は農政や流通等の知識習得や産地活性化のためのワークショップなど計3回の講座を開催し、次年度以降、ワークショップの結果をもとに産地改革プランの作成と実践の支援を行います。

産地改革プランの実践の際には、生産組織や関係機関の後押しと協力が必要となります。そのため、本講座の受講者は、将来の活躍を期待され、所属の生産組織から推薦を受けた女性農業者29名としました。

7月6日にオンラインで開催した第1回の講座では、「女性の力で農業にイノベーションを」と題して農業ジャーナリストの柿田みどり氏より、女性農業者の現状や課題、女性視点で農業や産業を変えた事例などの講話をいただきました。

また、「女性視点で産地や組織を変えていくために！」をテーマにしたワークショップでは、中小企業診断士の河野律子氏が講師と

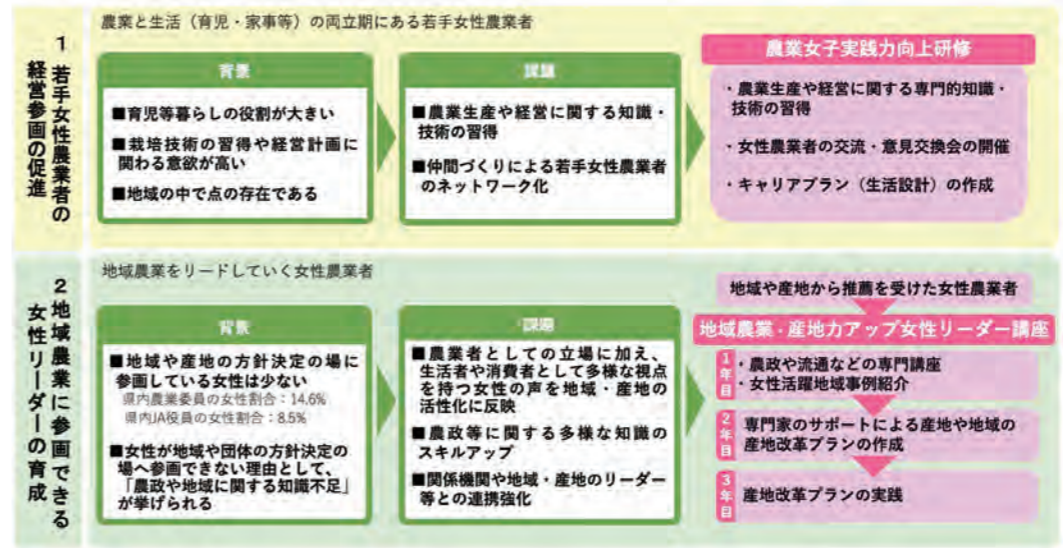


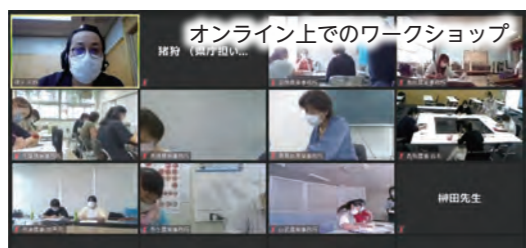
図2 女性農業者への支援内容

若手女性農業者の経営参画の促進

農業経営において女性は重要な役割を担っており、女性の農業経営への関与と収益の向上には関係があることが示されています(株日本政策金融公庫「平成28年上半年農業景況調査」)。しかし、女性農業者の場合、出産や育兒等により、農業経営や栽培技術について学ぶ機会が十分に確保できません。また、地域に点在しているため、同世代での交流や、経営や栽培技術に関する多様な情報を得られるネットワークが求められています。

◆農業女子実践力向上研修◆

そこで、県内10カ所の農業事務所において、若手女性農業者を対象に、農業生産や経営に関する知識・技術力の向上研修会を開催しています。各農業事務所がJAや市町村等と連携し、対象となる若手女性農業者の掘り起こしを行い、対象者の要望や地域の状況に応じて研修会のカリキュラムを決定しています。カリキュラムは、梨やイチゴなど品目別に栽培技術や販売方法を学んだり、直売向けの野菜づくり、農業機械の扱い方など農業生産



オンライン上でのワークショップ

今後の講座内容

回	時期・場所	主な内容
第2回	10月5日(火) 千葉市生涯学習センター	(1)講義・ワークショップ 「産地を活性化するための組織づくりのポイント」 (2)講義 「農産物マーケット・市場流通の実態」
第3回	11月25日(木) かずさアカデミアホール	(1)事例研修 「女性が活躍している産地の事例」～モットーは、楽しくワクワク～ (2)ワークショップ 「産地や地域の活性化に役立てよう!～ICTの効果的な活用～」